

# ムサカッ

## ニュース 第3号 2021年11月

### 第3回実行委員会を開催しました！

令和3年10月17日（日）に  
第3回実行委員会を開催しました。  
当日は、7名の実行委員が参加しました！  
今回のアイスブレイクは実行委員の提案で、  
『絵しりとり』をしました！  
絵で意味を伝えるのは難しいですが、素晴らしい  
チームワークで、沢なしりとりをつなぎました♪



第1回、第2回の実行委員会では、『子どもの権利』  
に触れるワークを行いました。  
皆さんが少し慣れてきた第3回ということで、  
世界のすべての子どもが持つ権利を定めた

『**子どもの権利条約**』と

武蔵野市で制定を目指している

『**子どもの権利に関する条例**』

の理解を深めるワークを行いました！



### 4つの権利

- ・生きる権利
- ・育つ権利
- ・守られる権利
- ・参加する権利

子どもの権利条約カードブックを使って、4つの権利に分類する  
ワークを行い、その後 **大切だと思ふ権利**について考えました！

### 大切であり、守られていると感じる権利

- ・被害にあった子を守る（虐待被害者への支援等）
- ・名前・国籍を持つ権利
- ・成長する上で必要な食糧・環境・医療が保障される  
こと（自分がいま元気に暮らしているから）
- ・教育を自由に受ける権利（子どもの意見が無視され  
ない）
- ・プライバシー・名誉を守る（守られていると思うが、  
気づかずに家族から侵害されている可能性があり、  
嫌だと感じる）



### 大切だが守られていないと感じる権利

- ・被害にあった子を守る（虐待のニュースなど  
を聞くから）
- ・差別の禁止（国によっては守られていない）
- ・教育を受ける権利（オンライン授業など学校  
に通えない子のための整備が行われて  
いない）。



### 守られなくなったらどうなるか

- ・人の個性や権利がなくなり自分を見失ってしまう。
- ・大人のせいなのに子どもが被害に遭い、社会復帰で  
きなくなる子が増える（将来的に働き手の喪失につな  
がる）
- ・自分にとって知られたくないことまで家族・大人に  
知られてしまう。



- ・多数の分野にまたがる権利もあり、  
分類が難しかった。
- ・視点によって、守られているかどうか  
判断が分かれる権利もあった。  
などの感想がありました



### どうしたら守られるようになると思うか。

- ・学校でのアンケートを書きやすく改善する  
（話しやすい先生や大人に相談しやすい環境  
を作る）
- ・想像しやすいように実例を挙げて差別や  
国籍・宗教について学ぶ。
- ・教育の制度を変える。
- ・インターネットでの発言について、  
通報できる仕組みをつくる（レッドカード・  
イエローカードのようなもの）



世田谷区 子ども条例  
西東京市 子ども条例  
愛知県日進市 未来をつくる子ども条例

の3つのほかの自治体の条例を見て、  
良いと思ったところ、わからなかったところ、  
武蔵野市の条例はこんなのがいいなあ！  
などを考えました♪



こんな意見もありました

LINE や電話で、こっそりと  
相談できるシステムが欲しい。



見せ方などについて

- ・イラストをたくさん載せてほしい。
- ・条文を全文載せても、読みづらく子どもにとっては負担になるため表現の仕方を考えてほしい。
- ・読み仮名をふってほしい
- ・難しい用語には、用語の意味を載せてほしい。
- ・伝わりづらい部分こそ、新聞の四コマ漫画のような漫画を載せてほしい。
- ・項目ごとに、キーワード（題名）を作ることで分かりやすくすると良い。



これからの実行委員会について

ムサカツ実行委員会も第3回となり、ちょうど折り返し地点。3月29日の本番は、**子どもの権利に関する条例づくりに向けて、中高生世代の意見をグループワークで市に提言してもらう**予定です。

そこで！相談の結果、実行委員のみなさんには、本番は以下の役割を担ってもらうことになりました。

★初めて参加する方のサポート役、リーダー役として、  
グループワークの中のサポートに入ってもらおう

★実行委員の今までの取り組みや、子どもの権利に関する情報提供などを参加者に伝える

本番に向けて、次回以降の実行委員会で準備を進めていきます！



内容について

- ・子どもの権利擁護機関の設置やその職務内容について書かれているのが良い。
- ・虐待についてなど具体的な例が多いとイメージがしやすい。
- ・秘密厳守の徹底を伝えてほしい。
- ・「せたホッと」のような相談できる居場所を作してほしい。
- ・子どもの気持ちや考えを尊重するといった内容の条文がほしい。
- ・用語の定義をしっかりと伝えたい。
- ・愛される権利・遊ぶ権利は、子どもならではの権利のため重要視してほしい。
- ・子どもにやさしいまちづくりに対する行政の姿勢を伝えてほしい。



全体に向けて発表中！



喜多委員長より

- ・権利を振り分けた際に、重なる権利がある条文を重要視していくと良い。
  - ・参加する権利については、さらに子どもたちに掘り下げて考えてもらいたい。
- というお話がありました



《今後のスケジュール》

第4回	12月26日(日)	→ 第4回～第6回は 13:00～16:00
第5回	2月13日(日)	
第6回	3月19日(土)	
【本番】	3月29日(火)	13:30～16:30

編集・発行 「Teens ムサカツ」ワーキングスタッフ